平成29年度　施設分析シート

Ⅰ施設の概要

施設名	ふるさと文化館				
所在地	南千住六丁目63番1号（南千住図書館併設）				
所管部署	生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費（単位：千円）	財源内容（単位：千円）		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成9年	3,600,000	0	0	3,600,000
増改築①					
増改築②					
竣工年月日	平成10年5月1日			常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	平成10年5月1日		職員数	10人	0人
構造	鉄筋コンクリート造		階層	地上4階、地下1階	
面積	敷地面積		2723.96㎡		
	延床面積		2584.59㎡		
設置目的・経緯	区民の生涯学習の振興並びに荒川区における教育、学術及び文化の発展に寄与するため				
関連部署					
根拠法令等設置条例	荒川区立荒川ふるさと文化館条例				
駐車場の状況	8台	バリアフリー対応状況	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	80台		○ 点字ブロック	○ スロープ	

Ⅱ管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	- から - まで
事業内容	①荒川区の考古、歴史、民俗等資料の収集及び保存②常設展示及び特別展示事業（企画展等）③資料の専門的な調査研究④文化財の保存及び活用⑤郷土学習のレファレンス（資料紹介や学習アドバイス、団体見学対応等）⑥教育、学術及び文化の振興に関する事業（各種講座）⑦伝統技術の保護と育成（荒川学校職人教室、伝統技術展、荒川区伝統工芸技術継承者育成事業、伝統工芸ギャラリーの運営等）			
対象者	区民全般・荒川ふるさと文化館利用者等			
運営時間等	運営時間	午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）		
	休日	月曜日（祝日、振替休日の場合は翌日）、年末年始、資料整理日		

利用者数等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
観覧者数（有料）（人）	3,190	3,370	4,288	3,192	4,000
観覧者数（無料）（人）	12,268	13,186	13,369	12,338	14,200
観覧者 合計（人）	15,458	16,556	17,657	15,530	18,200

その他	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
郷土学習室利用者（人）	4,523	4,215	5,365	3,555	-
伝統工芸ギャラリー入場者（人）	-	-	-	-	15,000
視聴覚室（件）	11	18	20	14	20
研修室（件）	27	23	30	22	30
開館日数（日）	302	303	302	298	287

Ⅲ財務諸表

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
行政費用	給与関係費	-	56,727	-
	物件費	-	64,253	-
	維持補修費	-	2,396	-
	扶助費	-	0	-
	補助費等	-	19,278	-
	減価償却費	-	40,228	-
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	2,096	-
	その他行政費用	-	0	-
	行政費用合計(b)	-	184,978	-
特別費用(g)		-	0	-
特別収支差額(f)-(g)=(h)		-	0	-

行政収入	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
	地方税等	-	0	-
	国庫支出金	-	1,012	-
	都支出金	-	506	-
	分担金及び負担金	-	0	-
	使用料及び手数料	-	408	-
	その他	-	346	-
	行政収入合計(a)	-	2,272	-
行政収支差額(a)-(b)=(c)		-	▲ 182,706	-
金融収支差額(d)		-	0	-
通常収支差額(c)+(d)=(e)		-	▲ 182,706	-
特別収入(f)		-	0	-
当期収支差額(e)+(h)		-	▲ 182,706	-

貸借対照表	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動資産	収入未済	-	0	-
	不納欠損引当金	-	0	-
	その他の流動資産	-	0	-
固定資産	有形固定資産	-	725,597	-
	土地	-	0	-
	建物	-	1,489,932	-
	建物減価償却累計額	-	▲ 764,335	-
	工作物等	-	0	-
	工作物等減価償却累計額	-	0	-
	無形固定資産	-	0	-
	建設仮勘定	-	2,734	-
	その他の固定資産	-	222,532	-
資産の部合計		-	950,863	-

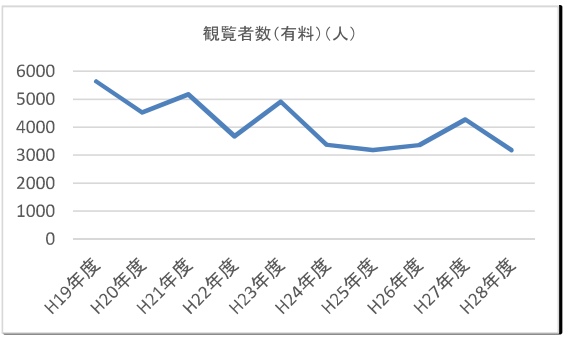
勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動負債	-	2,096	-
還付未済金	-	0	-
特別区債	-	0	-
賞与引当金	-	2,096	-
その他の流動負債	-	0	-
固定負債	-	25,308	-
特別区債	-	0	-
退職給与引当金	-	25,308	-
その他の固定負債	-	0	-
負債の部合計	-	27,404	-
正味財産	-	923,459	-
正味財産の部合計	-	923,459	-
負債及び正味財産の部合計	-	950,863	-

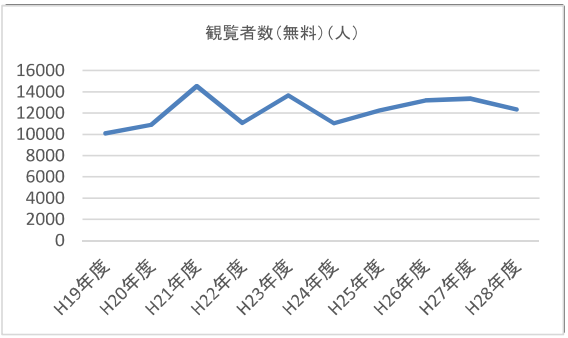
備考	行政費用では施設管理に係る委託料など、物件費が多くかかっている。

	指標	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（%）	-	-	-	51.3	-
	有形固定資産減価償却率（８０年）（%）	-	-	-	23.8	-
	１㎡当たりコスト（円）	-	-	-	71,570	-
	来館者１人当たりコスト（円）	-	-	-	11,911	-
	開館一日当たりコスト（円）	-	-	-	**620,731**	-

Ⅳ　施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	●　無　　○　有　（計画名：　　）						
目標指標	指標名・単位		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
	観覧者数（人）	目標値	-	-	-	-	18,200
		実績値	15,458	16,556	17,657	15,530	-
施設運営の方向性	○　転用･多目的化　○　民営化　○　他施設との統合　○　廃止 ●　現状維持　○　その他（　　）						
管理形態の変更の推移	○　有　（変更内容：　　） ●　無						
現状・課題	○経年劣化により建物全体の修繕箇所が増えてきており、荒川区公共施設等総合管理計画に基づき、計画的に修繕を行っていく必要がある。 ○伝統工芸ギャラリーの整備を契機に、さらなる施設来館者及び事業参加者数の増加に向けた事業や周知策を行う必要がある。 ○奥の細道に関する特設コーナー設置や、これに伴う荒川ふるさと文化館の名称変更等を検討する必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○伝統工芸ギャラリーや各種事業のPRを強化し、荒川区の伝統文化の魅力を区内外に広く発信し、施設来館者や事業参加者の増加につなげていく。 ○併設の南千住図書館と協力し、計画的に事業の運営・修繕等を行っていく。						
議会、利用者等からの意見	・平成26年度2月会議　荒川ふるさと文化館のあり方について ・平成29年2月予特　奥の細道の常設展示について						





平成29年度　施設分析シート

Ⅰ施設の概要

施設名	生涯学習センター				
所在地	荒川三丁目49番1号				
所管部署	生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費(単位:千円)	財源内容（単位：千円）		
			国・都	区債	一般財源
建築	昭和45年				
増改築①	平成8年	303,300			
増改築②					
竣工年月日	昭和45年			常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	平成9年		職員数	14	7
構造	ＲＣ造		階層	４階	
面積	敷地面積		6,766.09㎡		
	延床面積		2,970.35㎡（4530.36㎡のうち）		
設置目的・経緯	区民の生涯にわたる学習の場の提供や講座の開催、生涯学習の情報提供、学習相談など、学習活動の推進を図る。				
関連部署	文化交流推進課、教育委員会事務局指導室、福祉部高齢者福祉課				
根拠法令等設置条例	荒川区立生涯学習センター条例・施行規則				
駐車場の状況	1台	バリアフリー対応状況	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	50台		○ 点字ブロック	● スロープ	

Ⅱ管理運営の状況

管理形態	指定管理	㈱読売・日本テレビ文化センター	期間	平成27年度	から
				平成29年度	まで
事業内容	区民カレッジ、サークル活動の支援、学習活動の相談、生涯学習情報提供、ＩＴ学習・専修学校公開講座				
対象者	一般区民				
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時			
	休日	年末年始、館内整備等による臨時休館			

利用者数等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
利用者数（人）	131,565	174,090	170,758	156,441	170,000
利用件数（件）	7,280	7,350	7,344	7,283	7,300

その他	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
区民カレッジ講座数	57	54	51	61	62
区民カレッジ参加者数	3,580	3,921	3,853	3,688	3,950
ＩＴ自習室参加者数	1,932	1,893	1,971	1,971	2,000
貸室稼働率	64	64	64	62	65

Ⅲ財務諸表

（単位：千円）

勘定科目		H27年度	H28年度	差額
行政コスト計算書	行政費用 給与関係費	-	0	-
	物件費	-	65,025	-
	維持補修費	-	972	-
	扶助費	-	0	-
	補助費等	-	48	-
	減価償却費	-	0	-
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	0	-
	その他行政費用	-	0	-
	行政費用合計(b)	-	66,045	-
	特別費用(g)	-	0	-
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	-	0	-

勘定科目		H27年度	H28年度	差額
行政収入	地方税等	-	0	-
	国庫支出金	-	0	-
	都支出金	-	0	-
	分担金及び負担金	-	0	-
	使用料及び手数料	-	0	-
	その他	-	454	-
	行政収入合計(a)	-	454	-
行政収支差額(a)-(b)=(c)		-	▲ 65,591	-
金融収支差額(d)		-	0	-
通常収支差額(c)+(d)=(e)		-	▲ 65,591	-
特別収入(f)		-	0	-
当期収支差額(e)+(h)		-	▲ 65,591	-

勘定科目		H27年度	H28年度	差額
貸借対照表	流動資産 収入未済	-	0	-
	不納欠損引当金	-	0	-
	その他の流動資産	-	0	-
	固定資産 有形固定資産	-	35,226	-
	土地	-	35,226	-
	建物	-	170,717	-
	建物減価償却累計額	-	▲ 170,717	-
	工作物等	-	17,800	-
	工作物等減価償却累計額	-	▲ 17,800	-
	無形固定資産	-	0	-
	建設仮勘定	-	0	-
	その他の固定資産	-	4,250	-
	資産の部合計	-	39,476	-

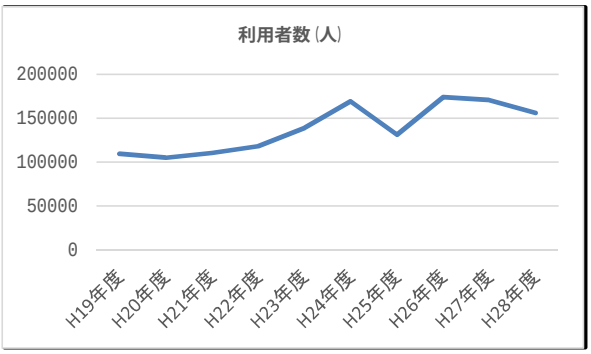
勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動負債	-	0	-
還付未済金	-	0	-
特別区債	-	0	-
賞与引当金	-	0	-
その他の流動負債	-	0	-
固定負債	-	0	-
特別区債	-	0	-
退職給与引当金	-	0	-
その他の固定負債	-	0	-
負債の部合計	-	0	-
正味財産	-	39,476	-
正味財産の部合計	-	39,476	-
負債及び正味財産の部合計	-	39,476	-

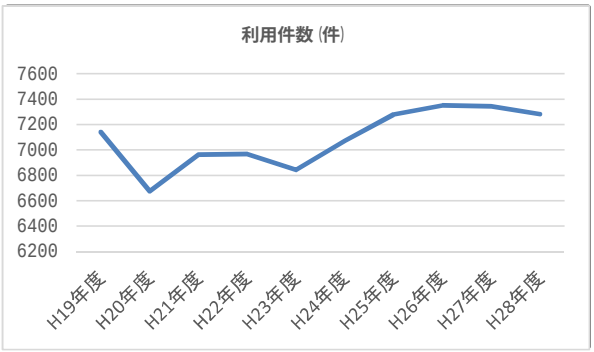
備考	行政費用では、指定管理料として、物件費が多くかかっている。また、28年度は多目的室の床改修を行ったため、維持補修費が972千円かかっている。

	指標	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（%）	-	-	-	100.0	-
	有形固定資産減価償却率（８０年）（%）	-	-	-	57.5	-
	１㎡当たりコスト（円）	-	-	-	14,578	-
	人にかかるコストの割合（指定管理）（%）	-	-	-	31.6	-
	開館１日当たりコスト（円）	-	-	-	185,520	-
	利用者１人当たりコスト（円）	-	-	-	422	-
	区民１人当たりコスト（円）	-	-	-	310	-
	受益者負担比率（%）	-	-	-	3.2	-
	指定管理料(千円)	62,340	62,103	60,940	60,819	-
	指定管理者の支出合計(千円)	64,531	63,623	61,149	62,932	
	指定管理者の人件費(千円)	20,177	21,293	19,035	19,903	-
	指定管理者の利用料金収入(千円)	2,699	2,387	2,413	2,214	-

Ⅳ　施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無　○ 有　（計画名：　　）						
目標指標	指標名・単位		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
	利用件数	目標値	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300
		実績値	7,280	7,350	7,344	7,283	7,300
施設運営の方向性	○ 転用･多目的化　○ 民営化　○ 他施設との統合　○ 廃止 ● 現状維持　○ その他（　　）						
管理形態の変更の推移	● 有　（変更内容：～平成15年度　直営　　平成16･17年度　委託　　平成18年度～　指定管理　） ○ 無						
現状・課題	○利用者アンケート等を踏まえて、一層の事業の充実や利用者サービスの向上を図る必要がある。 ○施設・設備の老朽化が進んでおり、荒川区公共施設等総合管理計画に基づき、計画的に修繕を行っていく必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○利用者に対して、積極的な声掛けやあいさつを行い、利用者の側に立ったサービスの質を高める。 ○区民カレッジについて、参加者アンケートを参考にしながら、俳句などの荒川区ならではの講座を行う等、さらに内容の充実を図る。 ○利用者アンケートで特に要望が多いトイレ改修については28年度に1箇所を洋式化したところであり、今後も引き続き改修を進め、安全で快適な利用環境を整える。						
議会、利用者等からの意見	＜議会＞ ・平成26年2月予特　多目的広場の大人の利用について ＜利用者等＞ ・平成28年度施設利用者アンケート　トイレの洋式化について						





平成29年度　施設分析シート

Ⅰ施設の概要

施設名	町屋文化センター				
所在地	荒川区荒川七丁目20番1号				
所管部署	生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費（単位:千円）	財源内容（単位：千円）		
			国・都	区債	一般財源
建築	昭和63年				
増改築①					
増改築②					
竣工年月日	昭和63年9月30日			常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	昭和63年11月1日		職員数	6	
構造	鉄骨鉄筋コンクリート		階層	3階	
面積	敷地面積		4,137.28㎡		
	延床面積		2,400㎡		
設置目的・経緯	多くの区民の学習・文化活動の場を提供し、生涯教育の推進と地域文化の振興を図る。				
関連部署	文化交流推進課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立町屋文化センター条例、同施行規則、荒川区立町屋文化センターの使用の予約に係る手続き等に関する要綱				
駐車場の状況	無	バリアフリー対応状況	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	80台		● 点字ブロック	○ スロープ	

Ⅱ管理運営の状況

管理形態	指定管理	公益財団法人 荒川区芸術文化振興財団	期間	平成27年4月1日	から
				平成30年3月31日	まで
事業内容	カルチャー講座、自主事業（一日文化体験・なないろひろば）等				
対象者	荒川区内在住・在勤・在学者				
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時			
	休日	年末年始、年3回の保守点検日			

利用者数等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
貸室利用者数（人）	188,547	183,743	185,624	178,995	180,000

その他	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
貸室ホール稼働率（%）	74	76	74	76	75
カルチャー講座数（講座）	638	672	671	659	-
カルチャー講座受講者数（人）	5,070	4,784	4,684	4,388	4,500

Ⅲ財務諸表

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
行政費用	給与関係費	-	0	-
	物件費	-	24,782	-
	維持補修費	-	0	-
	扶助費	-	0	-
	補助費等	-	15,068	-
	減価償却費	-	18,096	-
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-
	賞与・退職給与引当金繰入額	-	0	-
	その他行政費用	-	0	-
	行政費用合計(b)	-	57,946	-
特別費用(g)		-	0	-
特別収支差額(f)-(g)=(h)		-	0	-

勘定科目	H27年度	H28年度	差額
行政収入 地方税等	-	0	-
国庫支出金	-	0	-
都支出金	-	0	-
分担金及び負担金	-	0	-
使用料及び手数料	-	0	-
その他	-	698	-
行政収入合計(a)	-	698	-
行政収支差額(a)-(b)=(c)	-	▲ 57,248	-
金融収支差額(d)	-	0	-
通常収支差額(c)+(d)=(e)	-	▲ 57,248	-
特別収入(f)	-	0	-
当期収支差額(e)+(h)	-	▲ 57,248	-

貸借対照表	勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動資産	収入未済	-	0	-
	不納欠損引当金	-	0	-
	その他の流動資産	-	0	-
固定資産	有形固定資産	-	821,439	-
	土地	-	657,907	-
	建物	-	670,212	-
	建物減価償却累計額	-	▲ 506,680	-
	工作物等	-	0	-
	工作物等減価償却累計額	-	0	-
	無形固定資産	-	0	-
	建設仮勘定	-	0	-
	その他の固定資産	-	0	-
資産の部合計		-	821,439	-

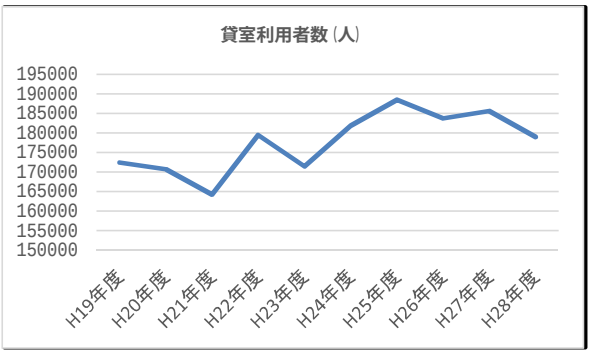
勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動負債	-	0	-
還付未済金	-	0	-
特別区債	-	0	-
賞与引当金	-	0	-
その他の流動負債	-	0	-
固定負債	-	0	-
特別区債	-	0	-
退職給与引当金	-	0	-
その他の固定負債	-	0	-
負債の部合計	-	0	-
正味財産	-	821,439	-
正味財産の部合計	-	821,439	-
負債及び正味財産の部合計	-	821,439	-

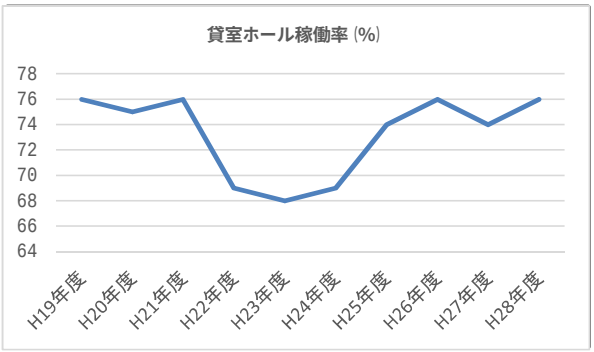
備考	行政費用では、指定管理料として、物件費が多くかかっている。また、ｲｰｽﾄﾋﾙ町屋管理・修繕費により、補助費等が多くかかっている。

	指標	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（%）	-	-	-	75.6	-
	有形固定資産減価償却率（８０年）（%）	-	-	-	35.0	-
	1㎡当たりコスト（円）	-	-	-	24,144	-
	人にかかるコストの割合（%）	-	-	-	10.1	-
	開館１日当たりコスト（円）	-	-	-	16,277	-
	利用者１人当たりコスト（円）	-	-	-	324	-
	区民１人当たりコスト（円）	-	-	-	272	-
	受益者負担比率（%）	-	-	-	20.1	-
	指定管理料（千円）	23,007	23,342	24,192	24,257	-
	指定管理者の支出合計（千円）	36,870	36,892	37,212	36,885	-
	指定管理者の人件費（千円）	3,473	3,480	3,892	3,737	-
	指定管理者の利用料金収入（千円）	14,157	14,369	14,318	14,214	-

Ⅳ　施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無　○ 有　（計画名：　）						
目標指標	指標名・単位		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
	利用者数（人）	目標値	-	-	-	-	180,000
		実績値	188,547	183,743	185,624	178,995	-
施設運営の方向性	○ 転用･多目的化　○ 民営化　○ 他施設との統合　○ 廃止 ● 現状維持　○ その他（　）						
管理形態の変更の推移	○ 有　（変更内容：　） ● 無						
現状・課題	○カルチャー講座は、受講者数が減少傾向にあり、受講者ニーズの変化に対応した講座を行う必要がある。 ○開設から２９年を経過しており、トイレなどの設備や備品の老朽化が進んでいるため、計画的な修繕と備品の更新を図る必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○カルチャー講座については、受講者アンケートからニーズを把握し、指定管理者と協議を重ねながら講座の充実を図り、受講者の新規獲得につなげていく。 ○施設の老朽化箇所について、安全性を考慮しながら適切に修繕を行うほか、荒川区公共施設等総合管理計画に基づいた改修を順次進めて、利用者にとって安全で快適な施設を提供する。						
議会、利用者等からの意見	・平成27年2月予特　付帯設備を継続使用した場合の割引制度について ・平成25年9月決特　附帯設備使用料の減額について						





平成29年度　施設分析シート

Ⅰ施設の概要

施設名	清里高原ロッジ及び清里高原少年自然の家				
所在地	山梨県北杜市高根町清里3545番5				
所管部署	生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費（単位:千円）	財源内容（単位：千円）		
			国・都	区債	一般財源
建築	昭和58年	810,551	199,563	0	610,988
増改築①					
増改築②					
竣工年月日	昭和58年4月15日			常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	昭和58年4月15日		職員数	5人・5人	
構造	RC造		階層	2階	
面積	敷地面積		32,322㎡		
	延床面積		3,999.96㎡		
設置目的・経緯	区民の健康増進、青少年の健全育成				
関連部署	指導室、学務課				
根拠法令等設置条例	荒川区立清里高原ロッジ条例、荒川区立清里高原少年自然の家条例、両条例施行規則				
駐車場の状況	約20台	バリアフリー対応状況	◯ エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無		◯ 点字ブロック	◯ スロープ	

Ⅱ管理運営の状況

管理形態	指定管理	ニッコクトラスト・東京パワーテクノロジープロジェクト	期間	平成27年度	から
				平成29年度	まで
事業内容	移動教室等の宿泊事業、一般団体及び社会教育関係団体の宿泊、指定管理者自主事業等				
対象者	荒川区内及び山梨県北杜市に在住、在勤、在学する者				
運営時間等	運営時間	-			
	休日	寒冷地にあるため、11月上旬～4月下旬は閉設。閉設期間は年度により異なる。			

利用者数等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
一般利用者（人）	1,467	1,646	1,757	1,657	2,000
学校利用者（人）	8,318	8,499	6,889	5,467	5,500
合計（人）	9,785	10,145	8,646	7,124	7,500

その他	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（見込み）
施設稼働率（%）	36	35	35	30	32
開所日数	192	192	190	189	191

Ⅲ財務諸表

（単位：千円）

行政コスト計算書 勘定科目	H27年度	H28年度	差額
行政費用 給与関係費	-	0	-
物件費	-	73,556	-
維持補修費	-	0	-
扶助費	-	0	-
補助費等	-	240	-
減価償却費	-	23,435	-
不納欠損・貸倒引当金繰入額	-	0	-
賞与・退職給与引当金繰入額	-	0	-
その他行政費用	-	0	-
行政費用合計(b)	-	97,231	-
特別費用(g)	-	0	-
特別収支差額(f)-(g)=(h)	-	0	-

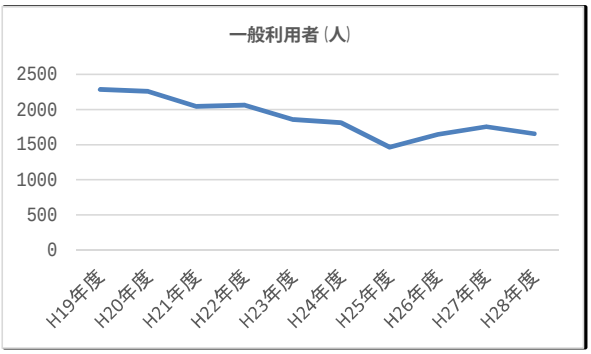
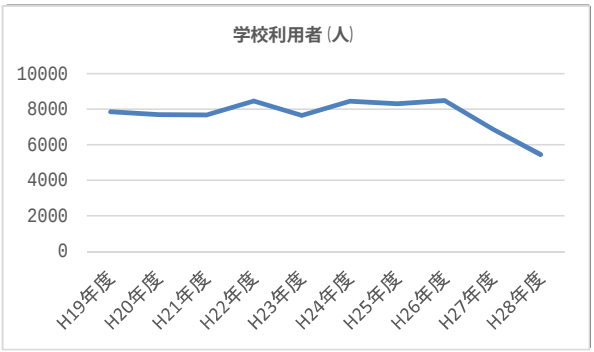
行政収入 勘定科目	H27年度	H28年度	差額
地方税等	-	0	-
国庫支出金	-	0	-
都支出金	-	0	-
分担金及び負担金	-	0	-
使用料及び手数料	-	0	-
その他	-	4,903	-
行政収入合計(a)	-	4,903	-
行政収支差額(a)-(b)=(c)	-	▲ 92,328	-
金融収支差額(d)	-	0	-
通常収支差額(c)+(d)=(e)	-	▲ 92,328	-
特別収入(f)	-	0	-
当期収支差額(e)+(h)	-	▲ 92,328	-

貸借対照表 勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動資産 収入未済	-	0	-
不納欠損引当金	-	0	-
その他の流動資産	-	0	-
固定資産 有形固定資産	-	68,986	-
土地	-	0	-
建物	-	841,289	-
建物減価償却累計額	-	▲ 772,303	-
工作物等	-	94,259	-
工作物等減価償却累計額	-	▲ 94,259	-
無形固定資産	-	0	-
建設仮勘定	-	0	-
その他の固定資産	-	3,824	-
資産の部合計	-	72,810	-

貸借対照表 勘定科目	H27年度	H28年度	差額
流動負債	-	0	-
還付未済金	-	0	-
特別区債	-	0	-
賞与引当金	-	0	-
その他の流動負債	-	0	-
固定負債	-	0	-
特別区債	-	0	-
退職給与引当金	-	0	-
その他の固定負債	-	0	-
負債の部合計	-	0	-
正味財産	-	72,810	-
正味財産の部合計	-	72,810	-
負債及び正味財産の部合計	-	72,810	-

備考	行政費用では、指定管理料として、物件費が多くかかっている。

	指標	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率	-	-	-	92.6	-
	有形固定資産減価償却率（８０年）（%）	-	-	-	48.3	-
	１㎡当たりコスト（円）	-	-	-	24,308	-
	人にかかるコストの割合（指定管理）（%）	-	-	-	23.1	-
	開所１日当たりコスト（円）	-	-	-	514,450	-
	利用者１人当たりコスト（円）	-	-	-	13,648	-
	受益者負担比率（%）	-	-	-	17.0	-
	指定管理料（千円）	52,367	52,738	51,015	55,826	-
	指定管理者の支出合計（千円）	75,878	77,546	72,139	69,282	
	指定管理者の人件費（千円）	16,343	17,372	17,094	16,028	-
	指定管理者の利用料金収入（千円）	24,320	25,291	22,696	18,824	-

Ⅳ　施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無　○ 有　（計画名：　　）						
目標指標	指標名・単位		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度(見込み)
	一般利用者数（人）	目標値	-	-	-	-	2,000
		実績値	1,467	1,646	1,757	1,657	-
施設運営の方向性	○ 転用･多目的化　○ 民営化　○ 他施設との統合　○ 廃止 ● 現状維持　○ その他（　　）						
管理形態の変更の推移	● 有　（変更内容：委託から指定管理へ　　） ○ 無						
現状・課題	○開設から34年が経過し、設備や備品、また施設自体の老朽化が進んでおり、計画的な修繕や備品の更新が必要である。 ○和式トイレが施設全体の4割程度あり、利用者から洋式化及びウォシュレット設置を求められており、老朽化した給排水設備の改修と併せて洋式化等を進めていく必要がある。 ○夏期学園休止に伴い、平成27年度以降は学校利用者が減少しており、一般利用や団体利用の新規獲得策を講じる必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○荒川区公共施設等総合管理計画に基づき、順次、大規模改修や老朽化した設備の修繕や備品の更新を図る必要がある。 ○給排水設備の改修工事と併せてトイレ洋式化及びウォシュレット設置を図り、利用者からのニーズに応えていく。 ○施設の魅力を積極的にPRするとともに、区民ハイキングやランニング合宿など、清里の環境を活かした自主事業を充実することにより、一般利用や団体利用の促進を図る。						
議会、利用者等からの意見	○平成28年2月予特　通年開設の検討について ○平成27年度6月会議　トイレの洋式化について ○平成29年2月予特　施設を活用した高地トレーニング等の提案について